

初等部新校舎竣工感謝の会における松澤理事長挨拶

2007年11月16日 於：初等部米山記念礼拝堂

はじめに、本日このように、青山学院初等部創立70周年を祝い、また、新校舎竣工感謝の会を挙げていただくことを、主なる神様に心からの感謝を申し上げます。

また本日は、お忙しい中、日頃より良きお交わりとご指導をいただいております学校関係の方々、初等部後援会・初等部同窓会くすのき会の方々、工事を担当された清水建設株式会社・株式会社竹中工務店を代表されるの方々、そして多くの青山学院関係者の皆様が、この記念式典および感謝会にご臨席くださっておりますことを、厚く御礼申し上げます。



この初等部新校舎の建築は、青山学院創立130周年事業の一つとして、2003年7月28日の鍬入式をもって始まりました。子どもたちが現在の場所で学びながら、そして、子どもたちに自分たちがこれから学ぶことになる新しい校舎が出来上がっていく姿を見せながら、また、皆様に愛されてきた校庭の「クスノキ」をそのまま残すこととして、工事を実施してまいりました。そして、青山学院初等部の前身であります「青山学院緑岡小学校」が、校友・米山梅吉先生のご寄付によって1937年に作られてから70周年の記念の年にあたる、本年8月に完成したものでございます。児童の皆さんや保護者の方々には大きなご不便をおかけいたしました。素晴らしい校舎を完成させることができました。

こうして素晴らしい新校舎が出来上がりましたが、校舎という外見だけではなく、70年の歴史の中で諸先達が築いてこられた、社会からいただいていた高い評価をさらに良くするために、ここで行なわれる教育の業が、より中身の濃い、充実したものとなるようにしなければなりません。そのために、初等部の教職員は勿論のこと、学院に働くすべての者が一致協力して、不断の努力を続けてまいり所存でございますので、ご出席の皆様には、なお一層のお力添えをお願い申し上げます。そして、この新校舎を、キリスト教信仰に基づく青山学院建学の精神を今まで以上に具現化するための器として、主なる神様が用いてくださいますように祈るものでございます。

本日ご出席の皆様の上に主の祝福が豊かにありますようお祈りいたしまして、ご挨拶といたします。